



## 2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月5日

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3682 URL <http://www.et-x.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 進也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 柳 忠和

TEL 03-5623-2622

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,735	26.7	500	118.8	501	112.1	344	111.3
2018年3月期第3四半期	1,368	4.7	228	8.8	236	5.8	163	4.7

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 326百万円 (64.9%) 2018年3月期第3四半期 198百万円 (15.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	50.18	
2018年3月期第3四半期	23.62	

(注1) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(注2) 「1株当たり四半期純利益」は、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて算出しております。

(注3) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	4,164	3,282	78.8
2018年3月期	3,699	3,039	82.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 3,282百万円 2018年3月期 3,039百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		25.00	25.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期の年間配当金は、当該株式分割前の金額であります。株式分割を考慮しますと、2018年3月期の1株当たり年間配当金は12円50銭となります。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,240	18.1	520	27.3	530	26.7	360	23.9	52.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注1) 連結業績予想の修正については、本日(2019年2月5日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(注2) 通期の「1株当たり当期純利益」は、2018年3月期末時点で信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて算出しております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	6,924,200 株	2018年3月期	6,924,200 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	54,784 株	2018年3月期	57,486 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	6,868,008 株	2018年3月期3Q	6,904,665 株

(注1) 当社は2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(注2) 「期末自己株式数」には、株式給付信託口が保有する当社株式が含まれております。また「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式には、株式給付信託口が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付書類P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、中国経済の減速や米国通商政策の不透明感、英国のEU離脱問題など海外経済の不確実性が見られる中で、個人消費の持ち直しや設備投資の増加を背景に、緩やかな回復が続いております。情報サービスの市場においても、売上高は2ヶ月連続で前年同月を上回り、中でもソフトウェアプロダクツ分野は23%を超える大幅な増加を示しました。(経済産業省 2019年1月 特定サービス産業動態統計速報(平成30年11月分))

このような状況のもと当社グループは、製品開発面では、クライアントPCをサイバー攻撃から保護する「ESS AdminControl for Clinet」の最新バージョン1.2を12月にリリースいたしました。また、上半期に引き続き「ESS REC」へのAI機能搭載実現に向けた研究開発に努めました。

営業面では、重要インフラ企業におけるサイバー攻撃への対策の一環として、10月開催の株式会社ナノオプト・メディア主催の「Security Days Fall 2018 Tokyo」及び11月開催のSBクリエイティブ株式会社主催の「認証・アクセス基盤強化セミナー 2018 秋」に出展いたしました。また、中堅企業マーケットへの製品認知を目的に、株式会社ecbeing・株式会社ソフトクリエイイト共催の「eコマース&セキュリティ展 2018」へ出展、さらに金融マーケットに対しては、従来の首都圏を対象にした日本金融通信社(ニッキン)主催の「FIT東京フォーラム」に加え、西日本の金融機関へのアプローチを目的に12月に開催された、日本金融通信社(ニッキン)主催の「FIT大阪」に出展するなど、様々な顧客セグメントへのソリューション訴求を目的に、イベント出展などの活動を精力的に行いました。

これらの活動の成果により、期初からの通算での新規企業への採用件数は前年同期の実績19社を大きく上回る28社に達しました。また、当社の主力製品である「ESS REC」は、ミック経済研究所調査により「システム証跡監査ツール」市場において、9年連続シェア1位(注1)を確保し、当該製品を含めた当社製品の累計導入企業は600社を超えた他、特権ID管理ソフトウェアの累計導入社数についても100社に到達しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,735,137千円(前年同期比26.7%増)、営業利益は500,702千円(前年同期比118.8%増)、経常利益は501,616千円(前年同期比112.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は344,625千円(前年同期比111.3%増)となりました。

(注1)出典:情報セキュリティソリューション市場の現状と将来展望 2010、同2011、2012、2013、2014、2015、2016、2017、2018【内部漏洩防止ソリューション編】株式会社ミック経済研究所

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①パッケージソフトウェア事業

当第3四半期連結累計期間におけるライセンス売上は、公共分野における重要インフラ事業者に対する「ESS REC」、「ESS AdminControl」などの主力製品と新製品「ESS AdminControl for Client」を加えた大型案件や金融を中心としたその他重要インフラ事業者や大規模システムを有する事業者への納品等により伸長し、593,804千円(前年同期比73.7%増)となりました。また、その他の売上も引き続き順調であったことなどにより、セグメント売上高は1,626,750千円(前年同期比30.0%増)となり、セグメント利益は863,072千円(前年同期比67.6%増)となりました。

## ②システム開発サービス事業

当第3四半期連結累計期間におけるシステム開発サービス事業は、ほぼ計画どおりに進捗いたしました。セグメント売上高は、108,386千円(前年同期比8.0%減)となり、セグメント利益は11,600千円(前年同期比29.0%減)となりました。

第3四半期連結累計期間における報告セグメント販売実績

(単位:千円)

報告セグメントの名称		前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
	うちESS REC (REC)	231,152	288,194
	うちその他ライセンス	110,712	305,610
	ライセンス	341,864	593,804
	保守サポートサービス	687,405	763,659
	クラウドサービス	37,753	50,351
	コンサルティングサービス	118,697	161,155
	SIO常駐サービス	27,735	22,212
	その他	37,656	35,567
	パッケージソフトウェア事業 計	1,251,114	1,626,750
	システム開発サービス事業	117,837	108,386
	合 計	1,368,952	1,735,137

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ464,804千円増加し、4,164,375千円(前連結会計年度末比12.6%増)となりました。主として現金及び預金の増加489,024千円、売掛金の減少58,571千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ221,560千円増加し、881,555千円(前連結会計年度末比33.6%増)となりました。主として前受金の増加165,776千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ243,243千円増加し、3,282,820千円(前連結会計年度末比8.0%増)となりました。主な減少要因は、利益剰余金の配当86,548千円の支払、増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上344,625千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本日(2019年2月5日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,075,213	3,564,238
売掛金	227,324	168,752
その他	31,239	53,632
流動資産合計	3,333,778	3,786,623
固定資産		
有形固定資産	34,188	42,150
無形固定資産	61,309	73,029
投資その他の資産	270,295	262,571
固定資産合計	365,793	377,751
資産合計	3,699,571	4,164,375
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,782	22,857
未払法人税等	84,273	78,909
前受金	408,563	574,340
賞与引当金	10,714	54,187
その他	101,227	118,355
流動負債合計	625,560	848,649
固定負債		
退職給付に係る負債	5,753	6,193
従業員株式給付引当金	3,132	1,125
資産除去債務	25,549	25,587
固定負債合計	34,434	32,905
負債合計	659,994	881,555
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	507,386	507,386
資本剰余金	489,386	489,386
利益剰余金	2,082,102	2,340,178
自己株式	△60,027	△57,235
株主資本合計	3,018,846	3,279,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,729	3,104
その他の包括利益累計額合計	20,729	3,104
純資産合計	3,039,576	3,282,820
負債純資産合計	3,699,571	4,164,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	1,368,952	1,735,137
売上原価	543,400	529,356
売上総利益	825,551	1,205,780
販売費及び一般管理費	596,748	705,078
営業利益	228,803	500,702
営業外収益		
受取利息	99	788
助成金収入	7,446	—
受取配当金	6	—
雑収入	184	150
営業外収益合計	7,736	938
営業外費用		
雑損失	5	25
営業外費用合計	5	25
経常利益	236,534	501,616
税金等調整前四半期純利益	236,534	501,616
法人税、住民税及び事業税	89,426	147,070
法人税等調整額	△15,977	9,920
法人税等合計	73,449	156,990
四半期純利益	163,085	344,625
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,085	344,625

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	163,085	344,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,176	△17,625
その他の包括利益合計	35,176	△17,625
四半期包括利益	198,262	326,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,262	326,999
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額
	パッケージ ソフトウェア	システム開発 サービス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,251,114	117,837	1,368,952	—	1,368,952
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	53,004	53,004	△53,004	—
計	1,251,114	170,842	1,421,956	△53,004	1,368,952
セグメント利益	514,941	16,339	531,280	△302,476	228,803

(注) 1. セグメント利益の調整額△302,476千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額
	パッケージ ソフトウェア	システム開発 サービス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,626,750	108,386	1,735,137	—	1,735,137
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	54,626	54,626	△54,626	—
計	1,626,750	163,012	1,789,763	△54,626	1,735,137
セグメント利益	863,072	11,600	874,672	△373,970	500,702

(注) 1. セグメント利益の調整額△373,970千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。